

令和5年度 佐賀市地域づくり交流会

実績報告

持続可能なまちづくり ~明るい未来へつなぐバトン~

1 開催概要・実績

日時 令和6年1月27日(土) 9:30~12:00

会場 メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)

目的 地域づくりに関わる多様な主体(まちづくり協議会、市民活動団体、企業、大学など)が自らの役割や連携のあり方についての認識を深めるとともに、今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげる。

来場者数

種別	令和4年度	令和5年度
まちづくり協議会	143	172
市民活動団体	48	41
企業	19	18
大学	10	7
PTA		14
その他・所属なし	45	43
合計	265人	295人

参加団体数(ブース出展・ポスター展示)

種別	令和4年度	令和5年度
まちづくり協議会	31	31
市民活動団体	12	11
企業	7	6
大学	3	3
合計	53	51

【R5】ブース出展団体…29団体

(まち協:11 市民活動団体:9 企業:6 大学:3)

ファシリテーター

花園大学 社会福祉学部 准教授 深川 光耀 氏

ふかがわ こうよう



当日のプログラム

- ①基調講演 ②事例発表 ③アイスブレイク
- ④さが・まちづくり広場 ⑤振り返り・まとめ

①基調講演

ファシリテーターの深川氏による基調講演。『私からはじまる協働のまちづくり～子育て世代の特徴からみた地域活動への参加と担い手としての可能性～』をテーマに、子育て世代の地域活動に対する想いや、私発協働についてお話しいただきました。

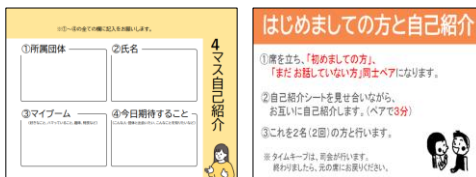
※私発協働…<私>から始まり、まわりをゆるやかに引きつけ、共に力を発揮しあうことを通じて『公共の幸福』に導く一連のプロセス

子育て世代が参加できない(しにくい)要因	子育て世代の地域活動に対する評価	子育て世代が関わりやすい地域活動のかたち	地域における私発協働
<p>1位: 時間がない(63.2%)</p> <p>2位: 何をしたらいいかわからない(23.1%)</p> <p>3位: 同世代の仲間が少ない(21.4%)</p> <p>「時間がない」「わからない」「仲間が少ない」3つの「ない」</p>	<p>●地域活動・まちづくり活動を、過半数が評価(他の世代と比較しても)</p> <p>●しかし、加入率、手伝った経験等は低い</p> <p>→大事だと認識、関わりは少ない</p>	<p>①自身の子どもに関係する活動であること</p> <p>②子育て期に直面する課題に関するテーマの活動であること</p> <p>③包括的でなく、目的や活動内容が明確であること</p> <p>④短期集中、完結型の活動であること</p> <p>⑤ともに取り組む同世代の仲間がいること</p>	<p><私>個人の想いの芽を大切にしながら、</p> <p>地縁組織(町内会等)が、見守りつつ(バックアップし)育てる姿勢</p> <p>※人的つながり、地域資源(活動資金、会場、広報)、信頼性の付与</p>

②事例発表 春日北まちづくり協議会の安富千鶴さん、佐賀県防災士会の溝上良雄さんから、各団体の取り組み事例を発表していただきました。



③アイスブレイク 『4マス自己紹介』冊子の自己紹介シートを使ったアイスブレイクを行いました。



④さが・まちづくり広場 今年度も29団体がブースで活動紹介を行いました。また、ロビーには22団体の活動紹介ポスターを展示しました。

【ブース交流の様子(多目的ホール)】



【特設ブースの様子(多目的室)】



【ポスター展示の様子(ロビー)】



【ブース出展団体】

- (まち協) 循読、赤松、西与賀、嘉瀬、蓮池、開成、春日、川上校区、富士、中川副、久保田
- (市民活動) 愛未来、かちPICA、SAGAアウトドアガイドクラブ、佐賀県CSO推進機構、佐賀県防災士会、佐賀市観光ボランティアガイド、セルフ、フードバンクさが、シニア情報生活アドバイザー会
- (企業) 九電グループ、佐賀建設労働組合、佐賀信用金庫、瀬戸上電機製作所、頼ミズ、明治安田生命 佐賀支社
- (大学) 佐賀女子短期大学、佐賀大学、西九州大学・西九州大学短期大学部

⑤振り返り・まとめ



- ①さんかしゃ同士の出会いから、手の取り合いに
- 活動のWIFIと向(目標志向)、競争から共創へ
- 「あのひととだったらできるだろう」という「他者高みの自慢」
- ②がんばらんば一だけではなく、気の合う仲間との楽しさを大事に
- 他縁や志縁に基いて、他縁(気の合う仲間同士の縁を大事に)
- ③しはつきょうどう(私発協働)を今日から、私たちが



合言葉は『さがし』です。

2 来場者アンケート結果

回答者数	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	21	153	174

※R3はライブ配信のみの開催。アンケートの回答もGoogleフォームからのみ受付。

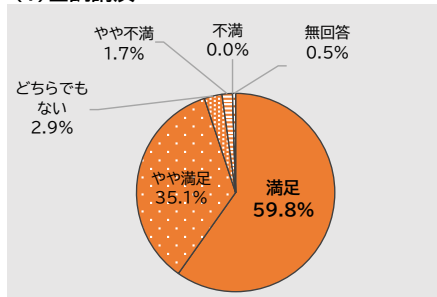
来場者数	回答者数	回答率
295	174	59.0%

●●●●●●●●▶ 令和4年度の回答率:54.3%

本日の内容はいかがでしたか。

(1)基調講演

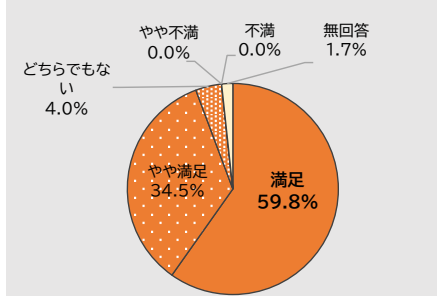
○…良かった点 △…改善を要する点



理由

- 次世代を担う年代の方々への声掛けやお誘いの方法を教われた。(学べた)
 - まち協の今後のあり方等についてヒントがもたらえた。
 - 大変わかりやすく、ポイントをついたお話でした。
 - 課題を直接的には解決できないが、視点を変えてやってみようという意識になった。
- △時間が不足でもっと聞きたかった。
△質疑応答の時間がほしかった。

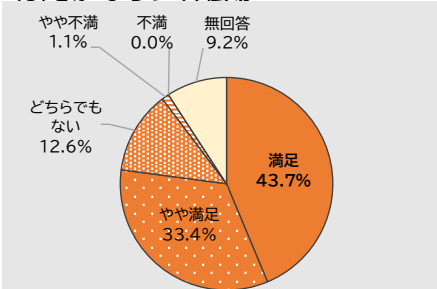
(2)事例発表



理由

- 子供たちを中心にすえ、保護者をまきこんだ活動は見習う必要を感じました。
 - 防災は地域全体で取り組む必要性を感じました。
 - 参考にさせていただき、自分の地域では何が出来るかを話し合いたい。
 - 1~2校区の発表が良い。昨年から改善されてよかった。
- △時間が足りない。
△手持ち資料が欲しかった。

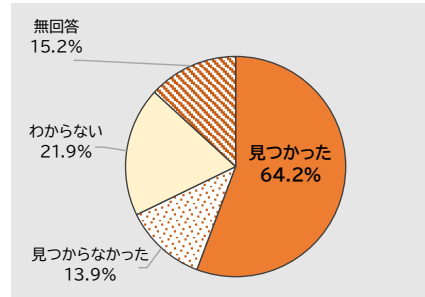
(3)さが・まちづくり広場



理由

- 色々なまち協や企業、団体とマンツーマンで話ができよかった。
 - 興味深い活動をされている団体もあり、今後繋がっていければと思う。
 - 新たなつながりが生まれそうです。
 - 元気な人が多くて、今後の佐賀市に光がみえました。
 - 展示するところも交流できる仕組みがgood。
- △ブースの間隔がせまくて見にくかった。
△毎年同じブースの出し方。

今回のイベントで、何か今後につながるヒントは見つかりましたか。



具体的な内容

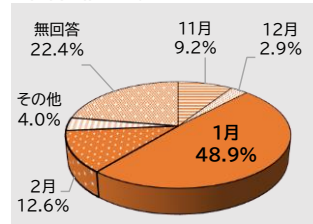
- 自分の地域での活動に取り入れたい内容があった。
- 人的交流が出来、今後の取り組みのヒントをもらった。
- イベントの考え方、やり方などが参考になりました。
- 一緒に活動したい団体と出会えました。

△期待した程度では無かったが、参考になった。

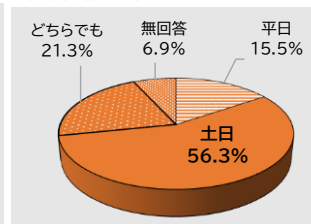
△何からすればよいか見つからなかった。
△私が考えている催しを行っているブースがなかった。

来年度の交流会などについて、ご意見をお聞かせください。

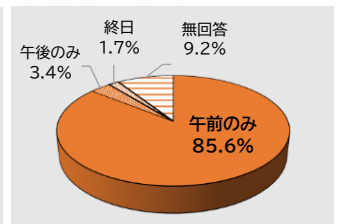
(1)開催の時期



(2)開催の曜日



(3)開催の時間帯



(4)他団体との交流…今後の活動で交流したい団体があればお書きください。

- ◇他のまちづくり協議会 ◇市民活動団体 ◇佐賀県防災士会 ◇フードバンクさが
- ◇外国籍の方の団体、学生の団体 ◇大学生のボランティア団体 ◇大学 ◇企業
- ◇社協 ◇参加団体を増やして欲しい ◇今回だけの判断は難しかった 等々

(5)その他…来年度取り上げて欲しい内容やご意見など自由にお書きください。

- ◇若い世代を取り込む方法で、上手くいっている事例 ◇若い人の参加事例
- ◇予算はどうしてるのか?について ◇PTAとまち協との関わり方についての事例紹介など。
- ◇NPOの活動状況。交流を考えるため。 ◇災害時の対応などまちづくりで行えること。
- ◇グループ(協議会)毎の交流会があってもいいのかな?
- ◇少子化による保護者の減少と高齢化による担い手不足の対策
- ◇まち協役員さんの意識改革をするためにどうしたらいいか、そのへんの講演をいただきたい。後継者作り若返りも含めて。
- ◇他の方達との交流の場がほしかった。時間が足りない。 ◇深川さんの話はどこかで伺いたい(次回でも)。